

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート										平成 28 年度事後評価・決算		所管課	学校教育課	担当班	指導班
事務事業名		コード	38800 課外活動支援事業	予算科目	会計	款	項	目							
					一般	10	3	2							
施策体系	基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	旭市課外活動支援事業実施要項										
	施策の展開	21	教育支援体制の充実	戦略事業	118	課外活動支援事業									
	施策の展開			戦略事業											
										事業種別	☒ 主な事業				
											☐ 国土強靱化地域計画				
											☐ 新市建設計画				
											☐ 定住自立圏構想				
											☐ 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	本事業は、市内の中学校に対し、部活動における専門的な知識及び技能指導力に優れた人物を各学校からの申請に基づき、派遣する。このことにより、市内中学校の課外活動の充実、振興及び活性化を図る。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・外部指導者の専門的な実技指導による生徒の競技力向上や専門性を有する顧問数の減少、教員の高齢化等への対応などの課題を軽減するため。学校現場からの要望が高く、生徒の成長にとっても必要性があることから、支援事業として予算化された。	平成20年の中央教育審議会答申を受け、学習指導要領の改訂では、1生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること、その際、地域や学校の実態に応じ、地域の人々の協力及び連携などの運営上の工夫を行うようにすることとなっている。また、教員の専門的な指導者不足により、指導者要請のニーズが高まっている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・中学校における部活動は、教育課程外の活動であるものの、学校教育活動の一環として中学校教育において大きな意義や役割を果たしており、必要な事業である。 ・生徒の部活動への積極的な参加や専門的な指導が実施されることにより保護者からの安心感もあり、学校から更に事業の拡大を希望する要望がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1.報償金	900	謝礼金
2.保険金	23	損害保険料
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	1.報償金	千円	800	800	800	900	900
	2.保険金	千円	28	19	20	23	28
		千円					
		千円					
		千円					
財源	事業費計(A)	千円	828	819	820	923	928
	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	828	819	820	923	928

前年度増減理由	指導者派遣の要望に対応するため、派遣回数増加と指導者数の増員を行ったため。
---------	---------------------------------------

従事職員数	常時	1人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

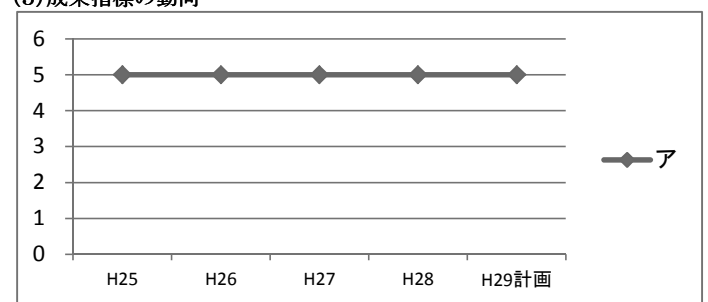
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・課外活動支援事業の通知及び派遣申請の取りまとめ ・派遣通知書及び保険申込書の作成 ・年3回実績報告の取りまとめ ・次年度の課外活動指導者割振計画作成		ア 支援事業の積極的な活用回数	回	400	400	400	450	450
			イ 指導者の人数	人	15	10	11	13	13

目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 旭市内中学校の部活動加入生徒 意図 ・運動部及び文芸部の活動における専門的な知識並びに技術を身に付ける。 対象 旭市内中学校の部活動加入生徒 意図 ・身に付けた知識や技能を生かして、学校生活を充実させたり、各種大会で力を発揮することができる。		ア 本事業についての満足度(満足と答えた学校数)	校	5	5	5	5	5
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
	普通	ある程度ある	②	③	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	④⑤	⑥	上位 1/3
			⑦⑧	⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					成果動向
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
			各中学校の課外活動が充実するよう計画的、継続的な指導者の配置を行う。	29年度	中学校における部活動の意義と果たす役割は大きい。高い専門性を有する種目の外部指導者による実技指導は、技能の向上は勿論、安全の確保や保護者からの期待感も大きい。人員や活動回数の拡大の要望が強い。	